

今月の ブックトーク

気持ちのいい季節になり、GWの連休にはどこかに出かけする人もいるかもしれませんね。

『妖怪一家九十九さん 妖怪一家の温泉ツアー』に出てくるおじいちゃんおばあちゃんも春のある日温泉



富安 陽子・作
山村 浩二・絵
理論社

温泉ツアーに行くことになりました。でも実は、この九十九さんは化野原団地で人間に交じって暮らしている妖怪一家。やまんばおばあちゃんはすぐなんでも食べようとするし、見越し入道のおじいちゃんは巨大化して人を驚かせるのが大好き。何かあっては大変と、いつもこの一家を助けてくれる団地の管理局長の的場さんが監視役としてついていくことになります。騒動が起きないよう奮闘する的場さんですが、案の定おばあちゃんがほかのツアー客の前でお皿ごと料理を食べてしまったり、旅館のある海吠崎に海ぼうずらしきものが出現し、おじいちゃんが張り切ってしまったり。手に負えなくなり、市役所の野中さんと九十九さん一家全員を助っ人に呼び寄せます。さて、海ぼうずの正体とは？ 一家は無事に楽しい温泉旅行を満喫できるのでしょうか？

旅行先では市場に行くのも楽しいものです。その土地ならではの食材に出会えたり、町の人とお話しできたりします。『世界の市場』には、世界12か国24の町の市場が紹介されています。その市場の様子や売っている物だけでなく、そこで売られている食材を使ったレシピや、おすすめのおやつまで知ることができとてもワクワクしますよ。探し絵のページもあり、隅々まで楽しめる絵本



マリヤ・
バーハレワ・文
アンナ・
デスニツカヤ・絵
岡根谷 実里・訳
河出書房新社

さあ、出かけよう、旅に出よう！

鈴木 千尋／和光小学校学校司書

で、眺めているだけで旅をした気分になること間違いなしです。

ワクワク楽しい旅もあれば、やむを得ず出かける旅もあります。「ジム・ボタンの機関車大旅行」はフクラム国とい

う小さな島国に小包が届いたところから始まる物語。「13」という謎の差出人から、中にはなんと男の赤ん坊が入っていました。王さま、家来、ナーニおばさん、機関士ルーカスと機関車のエマしかいない小さな国で、男の子はジム・ボタンと名付けられ成長します。ある日ジ

ムは仲良しのルーカスと機関車エマと共に、新たな土地を目指し旅に出る決意をします。みんなのために、狭すぎる国を出ることにしたのです。旅の途中で立ち寄ったマンダラ国の姫が竜の町にさらわれたことを知り、救出に行きます。姫をさらったのも「13」だとわかり、ジムの生まれの秘密も解き明かそうと考えたのです。続編の『ジム・ボタンと13人の海賊』もあわせて、不思議がいっぱいの奇想天外な冒険にみなさんも出かけてみてください。

ジムの旅には危険がいっぱいでしたが、私たちのお出かけにも危険は潜んでいます。そんな危険を回避しつつ、野外で冒険を楽しむには『冒険図鑑』が役立ちます。自然の中でキャンプをしたり、動植物に出会ったりする際の服装、火おこし、有毒植物の見分け方や料理、テント張りなど役立つ知識が満載です。今度のお休みの日にこの本を携えて出かけしてみてはいかがでしょうか。



さとうち 藍・文
松岡 達英・絵
福音館書店

最後のページの Q1

クイズの答え： ② 北里柴三郎

Q2

③ 紫式部

Q3

② 太陽の塔

Q4 ① ドイツ

(グミはドイツ語で「噛む」という意味)

※「今月のブックトーク」「図書館クイズ」は、全国学校図書館協議会Webサイトに掲載しています。QRコードより、PDFもご活用ください。

